

妄想女子返上！

キラキラな日差し 風は穏やかで暖かいから 昨日より一枚薄着で
出かける私 一人で歩いていても すぐ君のことを考えたりしてる

『ちょっと声かけてみたら 君は戸惑い 私のほう向くけど すぐ目を逸らしそう』

そんなこと考えてるけど 本当は声かける勇気なんて出ないから
頭の中で妄想してるだけなんだよ いつになれば本当に話ができるの？

駅に着いた後 人混みを抜けて お気に入りの裏通りへと足を進める
去年の秋に見つけたお店に入り 一番奥の棚にあるものを目指す

鏡に向かってあわせてみたらやっぱり 私の為専用に使われたみたい

店員さん近くに来て「お似合い」と声かけるから 決心がついたよ
そのまま着て帰るから タグ外してもらい それまで着てたのは バッグに押し込んだ

新しい服で気分はウキウキ スキップでもしちゃいそうなくらいの足取り
大通りを歩く私は 今だけは恋愛映画のヒロインになりきる

スクランブル交差点 斜め左の前の方に君を発見 ビックリした

これは願ってもないチャンス 少しだけ勇気を出せば 妄想は現実
3メートル前には 1人きり歩く君 このチャンス逃したら 一生後悔

少しだけ早足にして距離縮め 君の真後ろ 手が届く距離まで近づいたから
自分の心落ち着けて 前に手を伸ばして 肩叩くだけでいい